

## ご挨拶



皆様こんにちは。日頃より、監督署業務にご協力くださいます心より感謝申し上げます。当署では、今年度も新たなメンバーを迎え、令和 8 年度の業務をスタートしました。

今年度当署では、「長時間労働の抑制」や「適正な時間管理に基づく割増賃金の適正支払い等の労働条件確保・改善対策」、「労働者が安全で健康に働ける職場環境の整備」、「労災保険給付の迅速・公正な処理」等を重点に、職員一同、北薩地域の労働環境のさらなる向上を目指して努力して参りますので、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

## 川内労働基準監督署管内の労働災害の中身を少し覗いてみると

川内監督署管内の昨年令和 7 年の休業 4 日以上の労働災害発生数（コロナ関係除く）は 259 件となり、前年の令和 6 年に比較して 19 件減少しました。前年に比較して減少したのは実に約 10 年ぶりになりますが、過去最も少なかった平成 26 年の 180 件と比較すると以前高い水準で推移しており、右下のグラフのようになっています。

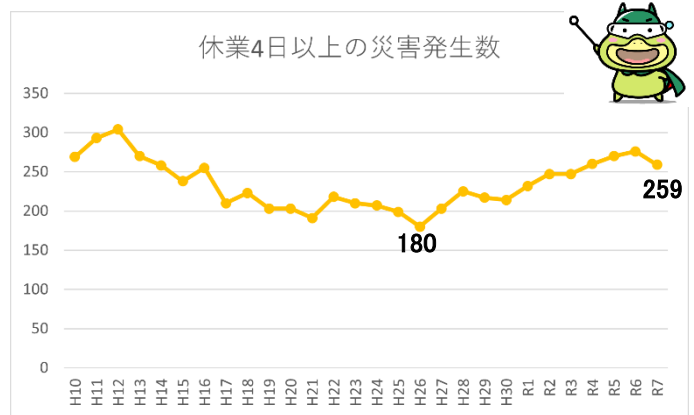
労働災害発生数については、過去、企業の労働災害防止対策の取組等により、昭和から平成の時代にかけて長期的には毎年ほぼ順調に減少してきておりましたが、管内においては平成 26 年を境に増加に転じ、昨年の約 260 件という発生数は、今から約 25 年前と同じ水準となっています。

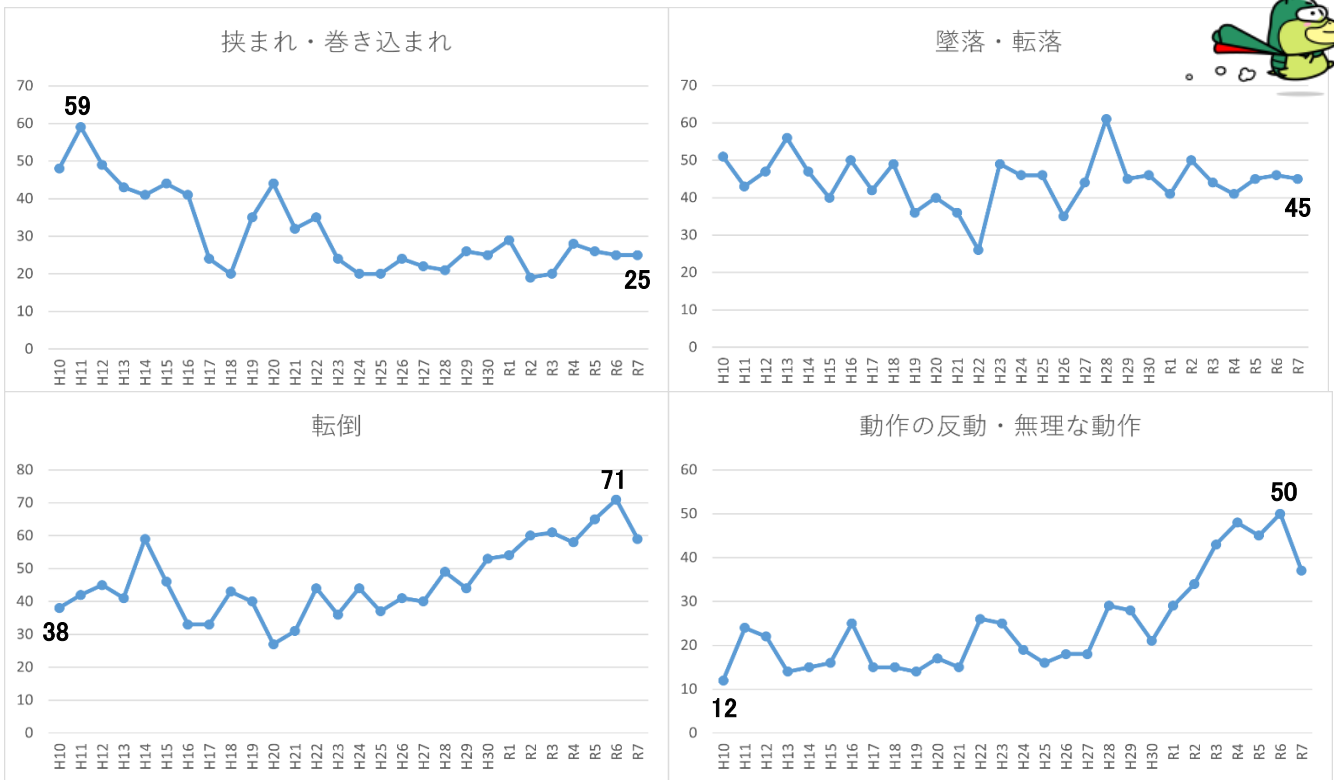
ところで、一言で労働災害といっても

様々な災害の形態があります。厚生労働省では、様々な災害の形態を例えば「墜落災害」とか「転倒災害」といった「事故の型」に分類しています。その様々な事故の型を発生数が多い順に並べてみると、毎年必ず 5 位以内に入っている型があり、その状況はここ 30 年ほど変わっておりません。その型は、「墜落・転落」「挟まれ・巻き込まれ」「転倒」「動作の反動・無理な動作」の 4 つです。

4 つの型を簡単に説明しますと、「**墜落・転落**」は、人が高低差のあるところから落ちる災害で、建設業では毎年最も多い災害ですが、実は製造業や第三次産業でも上位を占めています。「**挟まれ・巻き込まれ**」は、例えば機械に挟まった物を取ろうと手を入れて挟まれる等の災害で、製造業では常に上位を占めています。「**転倒**」は、人がほぼ同一平面上で滑ったり躓いたりして転ぶ災害で、ほとんどの業種で上位を占めています。「**動作の反動・無理な動作**」は、例えば重いものを持ち上げようとして腰を痛めたり、無理な動作で筋肉やすじを痛めるような災害です。

これら 4 つの事故の型の発生数について、過去 30 年ほどの推移をみると目立った傾向が見られますので、次のグラフをご覧ください。





「挟まれ・巻き込まれ」災害は平成10年代前半に比較すると全体的には減少がみられますが、最近足踏み状態です。一方、「墜落・転落災害」に関しては30年近くほとんど減少しておらず、災害発生数を見る限り、時代が進んでも対策があまり進んでいないことが覗えます。そして、「転倒」と「動作の反動」の災害に関しては、10年ほど前から明らかに上昇しており、現在、ほとんどの業種で転倒災害が最も発生数の多い事故の型になっています。

「転倒」や「動作の反動」の災害数の増加の背景には労働者の高齢化があり、厚生労働省では、今年2月に「高齢者の労働災害防止のための指針」を発出して対策を呼びかけています。人手不足や国全体の高齢化は今後もさらに進展していくことが確実視されていますので、各社におかれましても、取組への対応をお願いいたします。

## ハローワークからのお知らせ

労働に関するさまざまな情報をご案内しています

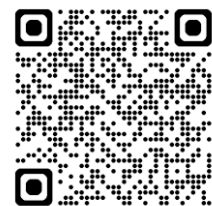
### みんなの労働ナビ

「はたらく」に関する情報を、利用者の方のニーズに合わせて簡単にチェックできるポータルサイトが始まりました。

例えば・・・

- 人材を募集したい、採用に関する基本を知りたい
- 使える支援や助成金・補助金の情報を知りたい
- 自社の制度や働き方の見直しに役立つ情報を知りたい
- 社員のスキルアップに取り組みたい
- 労働関係の法律やルールを知りたい

などの情報に簡単にアクセスできます。  
事業主の皆さま、ぜひご活用ください。



お問合せ先

ハローワーク川内 TEL 0996-22-8609  
ハローワーク出水 TEL 0996-62-0685  
ハローワーク宮之城 TEL 0996-53-0153